

スリホット

この8月はユダヤ暦の第6月、エルルに当たります。この月はやがて第7月、ティシュレイに行なわれる祭日（ラツパの祭り、贖罪の日、仮庵の祭り）の準備期間とされています。エルルの月には正統派ユダヤ人は朝早く、暗いうちに起き、スリホットと呼ばれる連続的な祈りを行ないます。

スリホットとは「赦し」を意味するスリハーという語の複数形です。早朝に起きてこれらの祈りを唱えることは、我らの隣人である正統派の人たちが行なう彼らの素晴らしい自制心や献身の表れです。

この赦しの月に、スファラディ系の前ラビ長、アマル師は、ある問題でスファラディ系ラビのリーダー、ヨセフ師を怒らせたことに対して、謝罪に訪れましたが、ヨセフ師は挨拶することもなくアマル師を辱めて帰らせました。

赦すことを教えるのは簡単ですが、赦しを実行するのは、なんと難しいことなのでしょう。私たちの信仰の基盤のひとつは、次の赦しの三角関係にあります。

1. 神に私たちの罪の赦しを乞い、
2. 人に私たち自身が人に対しておかした罪の赦しを乞い、
3. 私たちに対する他人の罪を赦すことです。

マタイ7:3

また、なぜあなたは、兄弟の目の中のちりに目をつけるが、自分の目の中の梁には気がつかないのですか。

人の欠点は見つけやすいものの、自分自身を見ることは実質的には不可能なのです。あなたの欠点には、あなた自身以外のみんなが注目しているのです。他人の欠点を挙げることに、時間は掛かりませんが、悔い改めるよう人から言われることや、そのところについて考慮することは耐えられないものなのです。

マタイ6:14-15

もし人の罪を赦すなら、あなたがたの天の父もあなたがたを赦してくださいませ。しかし、人を赦さないなら、あなたがたの父もあなたがたの罪をお赦しになりませぬ。

ここに「恵みのメカニズム」が与えられています。私たちは全て自身で気付かない罪と、完全には制覇できていないその他の罪をもっています。どちらの場合も、私たちが周りの人を赦す時に、そのメカニズムが私たち自身に対して作動し始めます。

イエシュアは、他人を7の70倍回、赦し続けるよう私たちに語っています（マタイ18:22、創世記4:24）。この数字を多いと感じるでしょうか。同じ測り方で、私たちが77×70回、赦されることができるのです。

ブレスラウからの救い

ロッシュ・ハシャナ（新年）を前に、エルサレムの至る所にポスターが貼られています。それはブレスラウ（ポーランドの都市）ハシディズム派の創始者であるラビ・ナフマン（1772~1810年ウクライナ、ウーマニに埋葬）の言葉として、彼の墓へ巡礼した者は、いかにその罪が大きくとも、ラビ・ナフマンの執り成しの祈りにより地獄から救い出されるということが記されているものです。

これが真実であるなら素晴らしい知らせでしょう。実際には、これは超正統派ユダヤ教によくある、死んだラビが救いをもたらすという危険な偽りなのです。しかし皮肉なことに、義なるラビへの信仰によって救われるというねじ曲げられた概念が、正統派ユダヤ教ではよく信じられている事実を如実に示しています。

本当の良い知らせは、救いは確かに一人の偉大なラビへの信仰から来るのですが、そのラビの墓はカラっぽになっているということです。

シリア

イスラエルの今週のニュース報道は、米連合軍によるシリアへの攻撃の可能性に対する準備に関するものばかりでした。この攻撃は委任統治的な意味合いのもので、というのは化学兵器の使用に反する国際協定に対する長期的な違反が行なわれてきたためです。シリアにおける市民の大量殺戮は非常に悪質なものです。

かといって、シリアの対抗勢力はより良いものなのかというと、多分より一層劣悪だといわざるを得ません。オバマ大統領に、何時またどのように攻撃すべきか知恵が与えられますよう、お祈りください。

ロシアと中国の2つの共産強大国は、イラン-シリア-ヒズボラというシーア派枢軸国との奇妙な同盟により、シリアと手を組んでいます。イランとシリアの両国政府は、米国がシリアに攻撃を加えるならば、イスラエルを攻撃すると発表しています。

最後のエチオピア移民

今週、イスラエル政府に許可されるエチオピアからの最後の移民団となる450人のエチオピアユダヤ人がイスラエルに到着します。これは、シバの女王のソロモン王への訪問（1列王

記10) やアフリカ大陸に福音が伝えられるブレイクスルーとなった、ピリポがエチオピアのカンダケ女王の財産管理人の宦官に出会ったこと（使徒8）にまで、遡る霊的歴史の幕を閉じたのです。イスラエルとアフリカの橋渡しとなるエチオピアのメシアニック兄弟姉妹たちのために、どうぞ共に祈っていきましょう。

秋の祭日

祈ってください：

- テルアビブで行なわれるラツパの祭りの準備のため。アドナイ・ロイ、ティフェレット・イエシュア、その他の現地コングリゲーションとの合同祈禱会となります。
- **贖罪の日**のアハヴァット・イエシュア、ティフェレット・イエシュア、マアレー・アドゥニム（地の塩）、メレフ・ハムレヒム（王の王）といった複数コングリゲーションによる断食・ワーシップ集会のため。
- マオズとリバイブイスラエルにより開催される、イスラエル・中国合同での、神さまの計画にある**仮庵の祭り**聖会のため。

色々なイベントが凝縮された季節ですが、これらの行事には歴史を変える様な、また聖書的で預言的な重要性があります。

ジュネーブ断食

コール・ジュネーブとは、ラツパの祭りと同日の9月5日に予定されている断食集会で、毎年恒例のJeûne Genevois—ジュネーブ断食と呼んでいます。その起源は1567年にフランス、リヨンで迫害の中にあつたプロテスタント信者のために呼びかけられた断食祈禱の第1回目でした。Jeûne Genevoisの集まりは、ジュネーブの統治者をして神に立ち返らせ回復されることを求めました。詳しくはこちらを：www.thecallgeneva.com

こちらは先週の祈禱課題でした、

1. 私たちの友人であるアーロンとリクヴァが先週木曜日結婚しました。このカップルのため、その新しい共同生活のためにお祈りください。
2. 10月1~4日は私たちの代表が聖会に参加するためエストニアへ行きます実りある宣教活動のため、お祈りください。